



平成 22 年 10 月 6 日
株式会社スカパーJSAT ホールディングス

連結業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社スカパーJSAT ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：秋山 政徳）は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 12 日に発表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正

（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	69,000	1,700	1,000	△600	△178.28
今回修正予想 (B)	70,500	5,000	4,000	800	237.70
増減額 (B - A)	1,500	3,300	3,000	1,400	
増減率 (%)	2.2%	194.1%	300.0%	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	69,756	8,249	7,417	3,282	975.19

2. 修正の理由

連結営業収益は、現状の業況の推移等を勘案し、当初予想の 690 億円を 705 億円に修正いたします。

損益面では、当該期間における加入者獲得数およびスカパー！サービスにおける SD（標準画質）から HD（ハイビジョン）への移行数が想定の 9 割程度で推移したことやその他の費用効率化等から、第 2 四半期の連結営業利益について、前回発表予想を 33 億円上回る 50 億円、連結経常利益については 30 億円上回る 40 億円、連結四半期純利益は 14 億円上回る 8 億円に上方修正いたします。

3. 通期業績予想について

通期業績予想については、前回発表数値から変更ありません。

来年 7 月の地上波アナログ放送の停波を控え、今年末は爆発的なデジタルテレビ商戦となり 10 月からの 3 ヶ月間で 700 万台が売られるという予測もあります。当社としてはこれを最大のチャンスと捉え、スカパー！e2 の徹底した販売促進を行い、新規加入者の獲得を図っております。

例年、秋にはスポーツシーズン終了に伴う一時的な解約増が生ずるものの年末年始に大幅な新規加入者獲得を実現し、スポーツシーズンが始まる来年 3 月には年初計画通りの純増数 9.7 万件を達成したいと考えております。

また、3D コンテンツの開発と充実をさらに進め、世界的にトップレベルの 3D 放送を提供することで、有料多チャンネル業界におけるスカパー！サービスの差別化を図ってまいります。年末商戦では家電メーカー各社と連携し、3D テレビの販売にあわせてスカパー！HD への加入を訴求してまいります。

このように下期には新規加入にプラスとなる要素が多く積極的な販促活動を行うことを計画しているため、上期の業績予想上方修正にかかわらず通期の業績予想は据え置きます。

4. 配当予想

配当予想については、安定配当を鑑み、前回発表の第二四半期末 600 円、期末 600 円、合計 1,200 円を変更しません。

- * 上記記載の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以上